

文学部の入学者受入れの方針 (Admission Policy ; A P)

文学部の「基本理念」「教育目標 (人材育成方針)」、教育理念、D P、C Pを踏まえ、以下のように入学者受入れの方針を定める。

＜教育理念＞

本学部における教育研究上の目的は、文化現象の総合的理解およびその継承を基本理念とし、その実現のために、少人数教育を基本とする教養教育および専門教育との適切な調和を考慮したきめ細かなカリキュラムによって、問題発見能力および多面的な分析能力の伸長を図ること、ならびに言葉を通して形づくられた人間、歴史および社会の多様なあり方を考究し、共感を持って他者を理解する能力および自己を他者に正確に伝達する能力を涵養することによって、社会的な活動を自律的に展開するための基礎を構築することとします。

(A P 1) 【求める学生像】

＜英米文学科＞

- (1) イギリス文学、アメリカ文学、英米およびその他の英語圏における歴史や文化、英語学、英語教育や通訳・翻訳・異文化コミュニケーションなどの分野に強い関心を持ち、それらの分野を探究しようとする人
- (2) 英語読解力を含む英語による実践的コミュニケーション能力を持つ人
- (3) 文献分析能力を持ち、自分の考えを口頭や文章で明晰に表現する力のある人
- (4) 国際社会の動向に幅広い知識と強い関心を持っている人

＜日本文学科＞

- (1) 自ら積極的に学問的探究を行う知的好奇心が旺盛で学んだ内容を生かして社会に貢献しようとする意欲のある人
- (2) 日本文学史上の各種のテキスト (文献) からその深みを読み取ることのできる感受性豊かな人
- (3) 読み取った情報からオリジナリティのある議論を、説得力を持った形で組み立てられる創造力・論理力に優れた人
- (4) 他者と適切にコミュニケーションがとれる言語能力が高い人

＜国際文化学科＞

- (1) 日本を含めた世界各地の歴史と文化を学ぶ意欲があり、身近な社会課題や地球規模の諸問題に関心を寄せている人
- (2) 自律的な地球市民として、国内外で活躍をしたいという志をいだく人
- (3) 歴史・地域文化研究、文化人類学、国際関係研究などの学問に挑戦しようとする意欲を持つ人
- (4) グローバル化が進展する中、幅広い知見や語学力、広義のコミュニケーション能力を身につけ、文化や社会の多様性と複雑性に柔軟に対応できるような人

＜現代社会学科＞

- (1) 身近な出来事について、「当たり前」と思うのではなく自分なりの問題意識を持ち、さらにその解決に積極的に取り組む意欲を持っている人
- (2) 新聞やテレビなどで報道されることを鵜呑みにせず、複数の情報源からの情報をつき合わせるなどして批判的に検討する姿勢を持っている人
- (3) 体験学習やインターンシップ、地域活動、国際交流などに積極的に参加するなど、地域社会や国際社会に対して強い関心を持ち、自ら関与していこうとする意欲を持っている人

(A P 2) 【入学者の選考方針】

文学部 (英米文学科、日本文学科、国際文化学科、現代社会学科) は、多様な人材を受け入れるために多様な選考方法を駆使して入学者の選考を実施する。入学者の選考に当たっては、本学部の「求める学生像」を考慮しつつ、公平かつ適正に選考が行われるよう細心の注意を払う。

(A P 3) 【大学入学までに身に付けておくべき教科・科目等】

文学部では増大する情報を選択し分析する力、論理的な思考力、広義のコミュニケーション能力、他者への共感力、自ら課題を発見し自律的に学習する力を磨き上げることを目指して、多彩な

プログラムを組んでいます。効果的な学習のためには、高等学校などで習得する科目全般に関する基礎学力が必要とされます。

＜英米文学科＞

- ①国語：さまざまな文献に記された現代日本語を読み解く力と、自分の考えを表現する文章力が必要です。
- ②外国語：英語力を最重視しています。従って、各入試方式で英語の配点は他学科よりも高いウエイトを占めています。大学での勉強は、言語と文化に対する深い洞察力を養うものであるため、その準備として、様々な種類の英語に多く触れておくことが肝要です。英語を聞き読む機会を増やし、英語を話し、書くようにしておくことが期待されます。自分の英語運用能力を把握するために、英検、TOEIC、TOEFLなどを受験するのもよいでしょう。
- ③地理歴史・公民：入学後には英語圏を中心とした西洋史の知識が必要となる専門科目が多数ありますので、世界史は重要です。世界史を受験科目としなかった場合も、世界史を勉強して、過去から現在にいたる広範な社会的現象に対する知識と関心を育むことが大切です。

＜日本文学科＞

- ①国語：現代文分野・古文分野・漢文分野いずれにおいても十分な読解力および知識 (文学史を含む) と、自分自身の考えを正確に表現する文章力を身につけておくことが必要です。
- ②外国語：英語文献を理解する読解力と、自分の考えを英語で伝えるコミュニケーション能力を身につけておくことが望まれます。
- ③地理歴史・公民：文化史なども含めて日本の歴史に関する知識を幅広く習得すると同時に、日本への理解を深めるためにも、世界史などについても基礎的な知識を身につけておくことが望まれます。

＜国際文化学科＞

- ①国語：文献を読むための日本語の読解力と、論理的思考を表現するための文章力が必要です。
- ②外国語：英語の文法的知識、読解力、表現力、リスニング能力、会話力が必要です。英語に限らず、韓国語、スペイン語、中国語、ドイツ語、フランス語をはじめとする多様な言語を学習しておくことも役に立ちます。
- ③地理歴史・公民：基礎知識を修得し、地域の歴史や広範な社会事象に対する探究心、国際社会の動向への関心をもつことが大切です。

＜現代社会学科＞

- ①国語：国語では、現代社会に関するさまざまな資料を理解するための基礎的読解力と、自らの考えを他の人に適切に伝達するための基礎的表現力を身につけておくこと、特に、現代文に関する科目を中心に履修しておくことが望まれます。
- ②外国語：自らの属する社会を他の社会と比較しながら相対化しつつ理解するための契機として、外国語の基礎的読解・表現能力を身につけておくことが望まれます。
- ③地理歴史・公民：現代社会を理解する上での前提となる知識として、地理歴史では世界史や日本史を、特に近現代を中心に理解しておくことが必要です。さらに現代社会の理解に直接関係する教科として、公民で現代社会に関する科目や政治・経済に関する科目も履修しておくことが望まれます。